

令和 4 年度事業報告書

社会福祉法人翔洋会

社会福祉法人翔洋会 令和4年度事業報告書

令和4年度は社会福祉法人翔洋会にとって新型コロナウイルス感染症の影響が例年以上に大きかった1年となりました。各施設が規模の差はあれ、クラスターを経験する事となり、改めて新型コロナウイルス感染症の感染力の強さを感じさせられました。

入居者様も定員の半数以上の方が感染する施設もあり、支援を行う職員も同様に感染し人員的に厳しい体制となりましたが、各施設共に職員が全体で助け合いこの危機を乗り切る事ができました。

しかしながら、大規模な感染が確認された施設も2度目は感染拡大に至らず、着実に経験を活かしている印象がありました。令和6年度より義務付けられる事業継続計画（BCP）に関してもその経験を元に実用的な内容に進化して各施設策定しております。

令和4年度を振り返り事業計画内の方針からみると、

○ 各施設経営基盤の改善・安定

空床期間を短縮するための待機者確保に関して、コロナ過ではありましたが時期を見て居宅介護支援事業所・病院等を訪問し営業活動に取り組んでおります。しかしながら、上記で報告しましたように、クラスター後に発生した空床を埋めることに時間がかかってしまった事が大きく、それが介護保険事業収入に影響しております。

また、経費高騰の影響が非常に大きく、特に電気料金に関しては12月～1月分が昨年同月の2倍以上になっており、節約以外の対策が必要となっています。

○ 人材確保及び定着

令和4年度はハローワーク及び社会福祉協議会主催の就職説明会に3回ほど参加していますが、ここ数年来場する求職者の減少が著しく目立ちます。数少ない来場者の中で翔洋会に興味を持ってもらうために、ウェブサイトやSNSを利用した情報発信が必要不可欠となりますので、昨年度からまだウェブサイトを用意していない施設も構築するように作業を進めています。また情報発信の窓口を増やすようにInstagramでの発信も進めており、まだ写真等の投稿数は少ないものの職員の研修や利用者様とのイベントごと等を公開しています。

このように求職者の確保が困難になっている状況の中で、職員が辞めない施設づくりが今まで以上に重要となっております。

入職した新卒採用や中途採用の職員さんに向けてのフォローアップの点でも各種専門部会のメンバーを中心として入職時の研修を施設ごとだけではなく合同で行うこともあります。また各施設共に適宜面談を行い、入職者の不安要素を取り除き定着を促しています。

○ 感染症及び災害への対応力強化

冒頭でご報告したようにクラスターを経験する中で得たものを BCP に入れ込んでいく中でより実用的なものになってきています。厳しい中で得たものを今後活かせるように各施設共に BCP を進化させていきます。

また、義務化となった際に出来ていないことがない様にこの令和4年度より翔洋会 BCP 推進委員会を立ち上げ、進捗の確認や情報共有を行い法人内で大きな差ができない様に進めていきます。

令和3年にオープンした企業主導型保育事業所ジョウ・キンダーガーデンも園児数が12月には定員に達し、「安心して子どもを預けられる保育所づくりを通じて、職場や地域の働く人を支える」という目的のもと、地域の子どもの全面的な発達をめざし、職員一同日々励んでおります。

地域貢献の面からみると昨年より始動した福祉有償運送は登録の利用者様が伸びており、改めて地域のニーズの高さを認識する事となりました。

その他、藤田大曲地区及び宮浦地区にて買い物支援を始めていますが、こちらも良い評価を頂いています。

支え合いサロン宮ノ浦も一時期感染の関係で中断していましたが、現在は以前と同様に地域の方に「あっ晴れももたろう体操」やケアマネージャーによる介護相談の場としてご利用頂いています。

令和5年度に関しましては、高齢者福祉事業5施設及び公益事業1施設を経営する法人全体の業務の効率化や機能の強化にも取り組みながら、さらに地域・社会への貢献を意識した活動に注力してまいります。

法人本部の主な社外活動・研修

4月15日	社会福祉協議会 灘崎支部 参与会
6月5日	馬場上地区清掃作業
6月7日	社会福祉協議会 灘崎支部 参与会
6月20日	富山学区オレンジカフェ青春
7月14日	おかやま就活フェス
10月2日	馬場上地区清掃作業
10月24日	富山学区オレンジカフェ青春 「認知症の人と接するときの心構え～住み慣れた地域で暮らし続けるためには～」講演
11月9日	ハローワーク 介護就職デイ
11月12日	岡山県社会福祉協議会 福祉の就職総合フェア 第2回
11月25日	社会福祉協議会 灘崎支部

	参与研修会「総社市下原地区自主防災組織の取り組み」
1 月 18 日	岡山労働局「若手社員が定着する上手な褒め方・しかり方」
1 月 23 日	富山学区オレンジカフェ青春
2 月 10 日	岡山県老人福祉協議会 令和 4 年度 BCP 策定研修会実践編
3 月 27 日	富山学区オレンジカフェ青春

*なお、事業報告の内容を補足する重要な事項がないため、事業報告の附属明細書は作成しておりません。

（灘崎荘関係）

《特別養護老人ホーム灘崎荘》（平成 5 年 7 月 1 日開設）

ご利用者の平均介護度は 3.83（前年度 3.95）、平均年齢は 85.5 歳（前年度 85.3 歳）でした（ともに令和 5 年 3 月 31 日時点）。一方、令和 4 年度中の入退所者は、入所者 23 名（前年度 21 名）、退所者 26 名（同 21 名）となり、退所者が増えています。退所から次の方の新規入所までの空床期間に関しては、年度の半ばまでは空所期間も短くとても順調に進んでいましたが、10 月頃からなかなか新入所が決まらないことがあったり、入所日が決まってもその利用施設でコロナのクラスターが発生して、終息するまで入所できなかったり、かなり厳しい状況になりました。また病院等への入院者も増加しており、年間を通しての平均利用状況（平均入所者数）は 76.3 名（前年度 78.7 名）、平均利用率 95.4%（前年度 96.3%）と前年度を下回る状況で推移しました。前年度に引き続き、手洗い・手指消毒の励行、マスク着用等、感染症予防・衛生管理対策と職員の体調管理の徹底を図ってきましたが、12 月にクラスター（職員 25 名、入所者 51 名）が発生しました。

昨年度に引き続き、新型コロナウイルス感染症の影響で大掛かりな行事がなかなか行えなかったが、その中でも屋内で感染予防に配慮した上で入所者様に喜んで頂けるように、お祭り、バーベキューや食事会、カフェ等のイベントも定期的に行う事ができました。

また、職員の資質向上のため開催している施設内集合研修につきましては、①身体拘束・虐待予防、②感染対策・褥瘡予防、③事故防止と 3 種類の研修を各 2 回、年間計 6 回実施しましたが新型コロナ感染症の影響もあり、職員が集まっての研修を見送ったケースもありました。外部研修の参加は介護職員実務者研修への参加を職員 1 名のみの参加となりました。外部研修への参加ができませんでしたが、チームリーダーや役職者が個別に集まって業務改善や職員間の意識や介護技術のレベル向上を図るための会議等を行い、職員に申し送りを行い利用者様が安心・安全に過ごせる質の高い介護サービスの提供を心がけるよう努めました。

なお、灘崎荘のホームページでは、各事業所（法人本部を含む）の活動や日々の行事の実施状況などについてブログを通じてきめ細かくご紹介し、入所施設やデイサービスをお探しの方への情報提供をはじめ、施設の求人活動などにも活用しております。

昨今の水道光熱費をはじめ異常な価格上昇等、今後も様々な課題が山積みではありますが、それらの課題を適切に対処し、安定した経営を保ち、ご利用者本位のサービス、その実現のための職員が働きやすい職場環境の整備に今後もより一層努めていきたい。

《短期入所事業》（平成 5 年 7 月 1 日開設）

感染対策強化のためソーシャルディスタンスの確保に努めた。感染症蔓延によりショートステイサービス利用停止とならないよう、利用前や利用中の体調 確認をしっかりと行い、必要に応じ隔離や在宅療養で感染対策徹底を行った。利用者の状態把握に努めた上で利用者、家族のニーズに応じた健康管理、機能維持のためのサービス提供に努めた。

年間通しての利用率が 75.0%（前年度 80.3%）と前年度を下回った。新型コロナウイルス（クラスター）の影響もあって利用を控える傾向もあり、昨年の稼働を維持することが難しかった。

た。また、入院や施設入所による利用予定のキャンセルもあり稼働低下に繋がった。

各居宅支援事業所への空床案内のお知らせと市内に限定せず空床のお知らせを行い、サービスニーズに応えられるよう進めていき、引き続き地域から信頼される対応を心がけます。

《灘崎荘通所介護事業所》（平成 5 年 7 月 1 日開設）

昨年に引き続き、新型コロナウイルス感染拡大が続く中での新年度がスタートしました。1 日平均の利用者数 12.4 名という結果で、新型コロナウイルス感染症の影響で通所サービスを一時的に休止せざるを得ない期間があったり、ご利用者のコロナ感染を恐れての利用控え等の影響、また長期入院をされた方もおり、特に夏から冬にかけての利用者数減少がみられました。

新規利用者数は令和 3 年度の 10 名から令和 4 年度は 12 名と増えています。利用中止利用者数が他界 5 名、施設入所 5 名でした。

営業するにあたって健康観察、3 密回避行動をとり、新型コロナ感染拡大にならないように情報を共有しながら、全スタッフの健康管理とワクチン接種を実施して安心と安全な環境づくりを行ってきました。感染した利用者、ご家族、濃厚接触者等その都度対応してきました。新規利用者の獲得のため、認知症等の困難事例の受け入れを積極的に行っており、来年度も継続して居宅介護支援センター等への訪問は続けていきます。デイサービスへ来ていただいた利用者様へのレクリエーションに関しては、ボランティアの受け入れは中止し、職員が日々工夫をしながら新型コロナウイルスの感染対策を行いつつ、できる範囲内で行ってきました。来年度は徐々にボランティアの受け入れを再開し、以前のように大人数の受け入れは難しいが、少人数で展開しています。

年間を通して 5 名の高校生介護実習受け入れを行っています。

《灘崎荘在宅介護支援センター（居宅介護支援事業）》（平成 12 年 4 月 1 日開設）

令和 4 年度は 9 月より常勤職員 2 人、非常勤 1 人体制での業務となった。介護ケアプランは前年度より 8.5%増加 出来た。 予防プランは前年度と同数で横這いの結果となった。今後も引き続き包括支援センターや病院 MSW、サービス事業所、主治医等との関係を良好に保ち新規紹介に繋げる。

認定調査件数は市からの依頼が増え前年度より 2.6 倍の調査を行う事が出来た。

介護支援業務に関する研修については徐々に対面での研修も増加しており、オンラインも活用しながら研修に参加し職員のより一層のスキルアップを図っていく。

○ 特別養護老人ホーム灘崎荘

1. 特養利用者定員 80名 短期入所定員 10名

2. 利用者(入所者)の状況

(1)利用者数及び延利用者日数

月	入 所 部 門		短 期 入 所 部 門	
	利用者数(名)	延利用者日数(日)	利用者数(名)	延利用者日数(日)
4	80	2,340	21	244
5	79	2,423	22	249
6	78	2,377	19	229
7	80	2,390	19	259
8	80	2,394	20	249
9	78	2,293	20	223
10	77	2,342	23	240
11	79	2,335	22	238
12	75	2,286	10	159
1	76	2,244	20	216
2	79	2,072	21	218
3	77	2,365	18	214
計	938	27,861	235	2,738

*入所部門の利用者数は各月末時点での在籍者数(入院者を含む)。

(2)令和4年度入所者及び退所者(短期入所を除く) (以下、令和5年3月31日現在)

入所者 23名 退所者 26名

(3)利用者の介護度 平均 3.83

(4)利用者の年齢 最高 102歳 最低 50歳 平均 85.8歳

(5)利用者の男女別数 (男) 18名 (女) 59名 計 77名

3. 主要行事等の実施状況

4月	バーベキュー(屋上)、ドライブ、外出(近場の散歩)
5月	ドライブ、音楽会
6月	外気浴(屋上でおやつを食べる)、季節外れの盆踊り
7月	七夕の飾りつけ、かき氷作り
8月	握りお寿司、音楽会
9月	灘崎荘敬老会
10月	灘崎荘フェスティバル(秋祭り)、お神輿
11月	おやつバイキング
12月	※コロナクラスターにより行事は実施せず
1月	お屠蘇、初詣
2月	節分・豆まき
3月	ひな祭(紙芝居や演奏会)

※上記以外に誕生日会を随時開催 手作りおやつ・定例食事会・カフェを毎月開催。

4. 地域・その他との交流の状況

地域清掃活動(6/6、10/3)

5. 実習生等の受け入れ状況

(1)倉敷中央高等学校 6名
1年生 11/16～11/22(2名) 2年生 10/18～11/7(3名)
3年生 5/24～6/10(3名)

6. ボランティアの受け入れ状況

実人員 本年度は感染予防対策上、ボランティア受け入れは行っておりません。

延人員 なし

7. 広報・啓発活動

- ・ホームページを活用した多様な情報の告知・提供
- ・施設内掲示板への掲示(事業計画、事業報告、決算概要など)
- ・介護サービス情報公表制度による事業内容の公開
- ・施設案内パンフレットの配付

8. 職員の配置状況(令和5年3月31日現在)

常勤職員 43名(介護士29名、看護師5名、介護支援専門員2名、生活相談員1名
機能訓練指導員1名、管理栄養士1名、事務4名(施設長を含む))
非常勤職員 13名(介護士5名、宿直2、洗濯担当3、用務2、生活相談員1)
採用者及び退職者 採用 10名 退職 11名

9. 委員会等の開催状況

(1) 感染対策委員会	}	各々 3ヵ月ごとに開催
(2) 拘束・虐待委員会		
(3) 事故対策委員会		
(4) 食事委員会		
(5) ショートステイ担当委員会		開催せず
(6) 入所判定委員会		年2回開催(本年度に関しては書面送付)

10. 職員の研修等の参加状況

○施設内研修(テーマ別研修)の実施状況

(1) 身体拘束及び虐待予防	}	各々 年2回開催
(2) 感染対策		
(3) 事故防止		
(4) 医療・褥瘡		

○外部研修への参加状況

(1) 県外	0回	0名
(2) 県内	7回	延 7名

研修名	場所	参加職種
社会保険制度説明会	ライフパーク倉敷	事務職員
岡山民間社会福祉従事者共済・育成制度事務説明会	オンライン	事務職員
介護福祉士実務者研修	富山荘	介護職員
安全運転管理者講習	運転免許センター	介護支援専門員
若手社員が定着する上手な褒め方・しかり方	オンライン	事務局長
BCP策定研修会 実践編	オンライン	事務局長
障害者雇用納付金制度事務説明会	ポリテクセンター	事務職員

○その他 消防・防災(消火、避難)訓練 2回

○灘崎荘 通所介護事業所

1. 利用者の推移

月	介護保険適用通所介護事業(介護予防)				介護保険適用通所介護事業(介護)			
	開所 日数	登 録 者数(名)	延利用 日数(回)	1日平均 利用者数(名)	開所 日数	登 録 者数(名)	延利用 日数(回)	1日平均 利用者数(名)
4	21	8	64	3.0	26	25	246	9.5
5	22	8	64	2.9	26	26	259	10.0
6	26	8	63	2.4	26	26	265	10.2
7	19	8	62	3.3	26	25	249	9.6
8	19	9	61	3.2	27	23	258	9.6
9	18	9	60	3.3	26	23	233	9.0
10	19	8	59	3.1	26	25	241	9.3
11	22	8	67	3.0	26	24	207	8.0
12	9	7	36	4.0	11	24	83	7.5
1	24	7	48	2.0	24	23	244	10.2
2	17	7	51	3.0	24	23	243	10.1
3	20	7	60	3.0	27	23	275	10.2
計	236	94	695	2.9	295	290	2,803	9.5

令和4年度1年間での新規利用(登録)者数

要支援者 1名 担当居宅名(池田医院1名)

要介護者 11名 担当居宅名(灘崎荘2名 ゆめの里1名 池田医院4名 暖家1名
ふたば会1名 こうなんクリニック2名

令和4年度1年間での利用中止(登録抹消)者数

(死去) 5名 担当居宅名 灘崎荘1名 池田医院1名 ゆめの里1名 創心会1名
(株)アシスト1名)

令和4年度1年間での利用中止(登録抹消)者数

(施設入所等) 5名 担当居宅名(灘崎荘1名 池田医院1名 ゆめの里1名 暖家1名
岡山しげい居宅1名)

2. 各種行事の実施状況

レクリエーション実施内容

○ 誕生日会	毎月	○じゃがいも収穫祭	6月
○ カレンダー作り	毎月	○じゃがいも植え	3月・9月
○ 園芸クラブ・寄せ植え	毎月	○ さくらまつり	4月

○さんぺいゲーム	毎月	○七夕祭	7月
○創作クラブ	毎月	○納涼祭	7月
○ナースの健康教室	毎月	○夏祭り	8月
○足湯	毎月	○備前焼作り	8月
○クッキングクラブ	毎月	○敬老会	9月
○マッサージ	毎月	○月見会	9月
○お茶の日	毎月	○ハロウィンパーティー	10月
○喫茶せつ	偶数月	○お飾り作り	12月
○いつこCafe	奇数月	○クリスマス会(忘年会)	12月
○絵手紙クラブ	各月	○クリスマスケーキ作り	12月
○せっちちゃんの脳トレ	随時	○新年会・初釜	1月
○フラワーアレンジメント	10月～6月	○書初め	1月
○菜園日	4月・8月	○節分	2月
○運動会	6月・10月	○チョコレートファウンテン	2月
○じゃがいも掘り	5月・11月		

3. 交流行事の実施状況

毎月1回藤田太極拳交流 ※コロナ対策の為中断
 定期的に灘崎おやこクラブと交流 ※コロナ対策の為中断
 2ヶ月に1度 なかよし会演芸 ※コロナ対策の為中断
 オカリナクレシェンド演奏(興除) ※コロナ対策の為中断
 紅合唱団(コロナ対策の為中断) ※コロナ対策の為中断
 うたごえ友の会(興除) ※コロナ対策の為中断
 西大寺祭り太鼓 ※コロナ対策の為中断
 琴伝流大正琴(興除) ※コロナ対策の為中断
 フラダンス ※コロナ対策の為中断
 民謡クラブ(興除) ※コロナ対策の為中断
 絵手紙クラブ(興除) 再開

4. 実習生等の受入状況

介護実習生 倉敷中央高校1年生2名
 倉敷中央高校2年生3名

※灘崎中学校職場体験
 教育職員免許法の特例にもとづく介護等体験 中止

5. ボランティアの受け入れ状況

実人員 5名 延 12名

6. 職員の配置状況(令和4年3月31日現在)

常勤職員	6名
非常勤職員・パート	3名

7. 職員の研修等の参加状況

○事業所内研修

感染対策、事故防止等、テーマを決めて毎月1回実施

○事業所外研修

コロナ対策の為中断

○灘崎荘在宅介護支援センター(居宅介護支援事業)

1. 介護給付ケアプランの作成件数

(件)

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
件数	65	69	71	71	71	72	69	69	68	69	69	71	834

2. 予防ケアプランの作成件数

(件)

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
件数	40	38	38	38	37	36	35	35	33	31	31	29	421

3. 認定調査件数

(件)

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
件数	2	3	2	3	2	2	3	1	0	4	5	2	29

4. 職員の配置状況(令和5年3月31日現在)

常勤職員:2名 非常勤:1名

5. 職員の研修等の参加状況

- | | | |
|----------------|------|------|
| (1) 施設外研修 | 10 回 | 延14名 |
| (2) 事業所内研修・見学等 | 2 回 | 延 6名 |

(富山荘関係)

《特別養護老人ホーム富山荘》 (平成 17 年 8 月 1 日開設)

令和 4 年度ご入居様の平均介護度は 4.0・平均年齢は 88.2 歳でした。
(令和 5 年 3 月 31 日時点)

入所者は 16 名、退所者は 14 名 (令和 5 年 3 月 31 日時点)

現在携帯電話を所有されている方が、4 名おられ、家族との連携を一層図っていくこと、毎月のご家族への連絡表を重視し、コロナ禍での不安を取り除くように努力します。

コロナ禍の中、富山荘での感染者・8 月入居者様 4 名/職員 6 名・9 月ショートスティご利用者 2 名・10 月ショートスティご利用者 1 名・11 月ショートスティご利用者 2 名ご入居様 3 名/職員 7 名が感染し、地域交流スペースで隔離し、対応しました。

コロナ感染対策チームを立ち上げ終息に向けてチームで対応した。

面会については家族会で購入して頂いたタブレットで実施し、看取りのご家族には感染対応して頂いて個室での対応し、ご家族からは付き添いも出来たと感謝されております。

職員については中国人 3 名・ベトナム人 1 名(特定技能実習生)が就労しており、夜勤業務が実施できるようになり、介護福祉士が取得できるように実務研修も取得しています。

職員の子供さんも企業型ジョウキンダーガーデンを利用し就労されている方もいます。

職員の内・外研修もリモートを活用し、実施できました。

地域との交流は認知症カフェに参加し、地域の方とコロナの状態を確認し実施した。

地域との交流で文化展が開催されたので、入居者様の作品を出展した。

今後、コロナウイルスの 5 群対象となり、施設での対応を感染委員会で協議し、BCP 計画に沿って実施していきます。

《富山荘短期入所事業》

コロナ禍もありましたが、65%~70%は維持できていたと思います。

コロナ感染でショートスティの受け入れを 1 ヶ月ほど中止したこともありましたが、ご利用時の抗体検査の徹底し、営業にも力を入れ維持出来ています。

レクレーションの充実を図りニーズに応えられるように対応していきます。

《富山荘居宅介護支援事業所》

現在、1 名で対応しておりますので、なかなか数字に繋がっておりませんが、予防から介護に移行している方も出てきた。、地域で相談員と営業につなげていけるように参加していきます。

○ 特別養護老人ホーム富山荘

1. 特養利用者定員 50名 短期入所定員 10名

2. 利用者(入所者)の状況

(1)利用者数及び延利用者日数

月	入 所 部 門		短 期 入 所 部 門	
	利用者数(名)	延利用者日数(日)	利用者数(名)	延利用者日数(日)
4	52	1,543	17	178
5	50	1,538	18	188
6	50	1,505	22	210
7	49	1,515	21	205
8	50	1,542	19	226
9	52	1,513	17	203
10	52	1,612	23	227
11	52	1,560	14	178
12	49	1,554	25	208
1	49	1,471	23	209
2	52	1,391	24	199
3	50	1,562	23	210
計	607	18,306	345	2,441

*入所部門の利用者数は各月末時点での在籍者数(入院者を含む)。

(2)令和4年度入所者及び退所者(短期入所を除く) (以下、令和5年3月31日現在)

入所者 16 名 退所者 14 名

(3)利用者の介護度 平均 4.0

(4)利用者の年齢 最高 101歳 最低 75歳 平均 88.3歳

(5)利用者の男女別数 (男) 11名 (女) 40名 計 50名

3. 主要行事等の実施状況

4月	お花見
5月	お茶会
6月	綿菓子
7月	かき氷
8月	スイカ割
9月	敬老会
10月	保育園児とハロウィン
11月	紅葉ドライブ・焼き芋会
12月	クリスマス会 餅つき (保育園児と)
1月	お茶会
2月	節分・豆まき
3月	ひな祭・お茶会

※上記以外に誕生日会を随時開催 毎月リハビリクッキング開催・不定期喫茶

4. 地域・その他との交流の状況

認知症オレンジカフェ

東区地域ケア連携会議・支え合い推進会議

富山学区文化展

5. 実習生等の受け入れ状況

①ノートルダム清心大学 管理栄養士実習

②介護体験実習(コロナで中止)

6. ボランティアの受け入れ状況

実人員 本年度は感染予防対策上、ボランティア受け入れは行っておりません。

令和5年度はリハビリクッキングなどに参加予定

延人員 なし

7. 広報・啓発活動

- ・ホームページを活用した多様な情報の告知・提供(作成中)
- ・施設内での掲示(事業計画、事業報告、決算概要など)
- ・介護サービス情報公表制度による事業内容の公開
- ・年4回広報誌作成
- ・施設案内パンフレットの配付

8. 職員の配置状況(令和5年3月31日現在)

常勤職員 35名(介護士25名、看護師3名、介護支援専門員1名、生活相談員2名
機能訓練指導員1名、管理栄養士1名、事務2名(施設長を含む))

中国 3名 ベトナム1名

非常勤職員 12名(介護士6名、宿直2、洗濯担当3、清掃1)

採用者及び退職者 採用 14名 退職 11名

9. 委員会等の開催状況

- | | | |
|-----------------|---|-----------------------------|
| (1)食事・感染・医療委員会 | } | 各々 1～3ヵ月ごとに開催 |
| (2)事故・拘束・虐待委員会 | | |
| (3)生活・環境委員会 | | |
| (4)ショートステイ担当委員会 | | 2ヵ月ごとに開催 |
| (5)入所判定委員会 | | 3ヵ月1回開催(本年度に関しては第3者委員には書面送) |

10. 職員の研修等の参加状況

○施設内研修(テーマ別研修)の実施状況

- | | | |
|-----------------|---|--|
| (1)身体拘束及び虐待予防 | } | 各々 年2回開催 |
| (2)感染対策及び褥瘡予防 | | |
| (3)事故防止 | | |
| (4)毎月各委員会の研修発表会 | | |
| (5)2・3ヶ月ごとに外部研修 | | ・VRシステムを活用した認知症研修・実務研修2名
光洋(株)おむつの研修・看取り研修・介護現場で必要な接遇マナー
法人理念とその実現 |

○外部研修への参加状況

- (1) 県外 0回 0名
 (2) 県内 17回 延 19名

研修名	場所	参加職員
福祉職員キャリアパス研修	きらめき	介護職員
福祉有送運送運営者講習	福祉センター	相談員2名
ケアマネ大会	三木記念ホール	相談員他2名
認知症介護実践研修	きらめき	介護職員
実務研修(1名)	富山荘	介護職員
外国人基本研修 4名	きらめき	介護職員
喀痰吸引研修	旭川荘厚生専門学院	介護リーダー
防災・福祉対応向上研修	きらめき	生活相談員
介護支援専門員更新研修 3名	ターミナルスクエア	介護支援専門員
認知症基礎研修 3名	ふれあい	介護職員

- その他 消防・防災・災害(消火、避難)訓練 2回

○ 富山荘在宅介護支援センター(居宅介護支援事業)

1. 介護給付ケアプランの作成件数 (件)

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
件数	16	17	17	18	18	10	11	11	11	10	13	10	162

2. 予防ケアプランの作成件数 (件)

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
件数	35	36	35	36	36	21	22	22	21	23	21	21	329

3. 認定調査件数 (件)

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
件数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

4. 職員の配置状況(令和5年3月31日現在)

常勤職員 2名

5. 職員の研修等の参加状況

(1) 施設外研修 2回 延 4名

研 修 内 容	場 所
認定調査現任研修	岡山市勤労者福祉センター
介護予防支援・介護予防ケアマネジメント研修	岡山ふれあいセンター
パワハラ・虐待	リモート
居宅介護支援連絡会議	西大寺百花プラザ

(2) 事業所内研修 3回

(藤田荘関係)

《特別養護老人ホーム藤田荘》（平成 19 年 10 月 1 日開設）

昨年度と同様、コロナ禍の「緊張」の中での 1 年間でしたが、特に 1 2 月には施設内クラスターが発生し、入居者およびご家族、関係機関の方々には大変ご心配をおかけしました。運営状況をみますと、前年度とほぼ同程度の稼働率ではありますが、やはりクラスター終結以降、その後遺症とでも申しましょうか、年度末にかけては調子が元に戻らず、空床を埋められない期間も多少ありました。また、経費の面では、諸物価の高騰につき、特に電気代が最高月(1 月)では、1 2 7 万円/月(前年度比約 2. 2 倍)を記録するなど、結果的には年間で、前年度に比較して約 4 0 0 万円の増額となり、節約・節電にも励みましたが依然経営を圧迫しております。

《藤田荘短期入所生活介護事業所》（平成 19 年 10 月 1 日開設）

昨年度の利用率 57.8%に比較すると今年度は 56.0%とやや下がりました。これは、1 2 月の特養のクラスター発生を受けて、ショートステイを 1 か月間閉鎖したことが大きく影響しております。ただし、大きな流れとしては、居宅介護支援事業所(ケアマネ)からの、新規の利用問い合わせが継続してありました。

《藤田荘認知症対応型通所介護事業所》（平成 19 年 10 月 1 日開設）

コロナ禍でボランティアの来荘をご遠慮いただくようにしたため、職員が特技や趣味を生かして積極的に行事を行いました。利用者数の増減はあまりありませんでしたが、9 月と 1 月に職員のコロナ感染のためそれぞれ 3～4 日程度デイサービスを休業しました。関係機関に心配をかけてしまいましたが、クラスター発生には至りませんでした。この体験を前向きにとらえて感染防止対策に対する意識を向上させていくことが出来ました。コロナ禍の最中ではあったが、6 月より、月 1 回地元大曲地区の高齢者を対象に「買い物支援」をスタートさせることが出来ました。その取り組みは、岡山市社会福祉協議会の広報誌 4 月号にも取り上げられました。

《藤田荘小規模多機能型居宅介護事業所》（平成 19 年 10 月 1 日開設）

今年度は利用者が、施設入所されることが多く、安定した運営にはなりませんでしたが。コロナ禍の影響も受け、新規利用者の獲得が困難な状況でしたが、ケアマネを中心に広報活動を行い、その結果、病院などからの紹介を頂き利用者がやや増えました。利用者に「信頼と安心」を提供することに繋がっています。感染症予防の一環として、フレイルに着目し、テレビ体操を取り入れる事で、職員、利用者の基礎体力の向上に取り組んできました。

1,定 員 特別養護老人ホーム 29名, 短期入所 5名

2,入居者(利用者)の状況

(1)利用者数及び延利用者数

	特別養護老人ホーム(特例1床を含み30床で計算)		ショートステイ(特例1床を減じ満床4床で計算)	
月別	利用者実数平均(1日/人)	延利用者日数(人)	利用者実数平均(1日/人)	延利用者日数(人)
4月	29.4	883	2.3	70
5月	29.6	918	2.8	89
6月	29.6	889	2.2	67
7月	29.2	907	2.4	76
8月	29.5	916	2.6	82
9月	30.0	900	2.5	77
10月	29.9	929	2.3	72
11月	29.0	872	2.9	89
12月	29.3	910	1.0	32(コロナのため休業)
1月	29.0	902	1.5	47
2月	28.8	809	2.2	64
3月	29.0	899	1.8	57
計	29.3	10,734	2.3	822
※昨年度10,754人より20人減。(稼働率98.0%)			※昨年度比、年間845人より延べ利用者数23人減。(稼働率56.0%)	

(2)利用者の介護度 平均 3.7 (昨年度3.8)

(3)利用者の年齢 高 102歳 低 73歳 平均 89.0歳 (昨年度88.5歳)

(4)利用者の男女別数 (男) 7名 (女) 22名 計 29名

(5)入退居の状況 退居者 7名 新入居者 6名

(6)待機者の状況 44名 (昨年度55名) ※(年度末時点での数値)

3、各種主要行事等の実施状況

毎月の行事	リハビリクッキング	おやつ作り・お寿司作りなどを入居者参加型で各ユニットで延べ62回実施
	誕生日会	延べ26回開催
4月	深山公園ドライブ、季節の施設周辺散策、ご自宅訪問	
5月	季節の施設周辺散策、カラオケ大会、100歳お祝い	
6月	玉入れ、おやつ探しゲーム、施設内不在者投票、第1回目防災訓練	
7月	七夕会	
8月	スイカ割り、夏祭り、第1回目消防訓練	
9月	敬老会(ミニ式典、お楽しみ演芸会)	
10月	お月見会、ドライブ外出(深山公園)	
11月	秋祭り(屋台メニュー)	
12月	(クラスター対応のため行事等はありません)	
1月	ミニ新年会(握り寿司、大手饅頭)	
2月	節分巻きずし作り、第2回目消防・防災訓練	
3月	季節の散策計2回	

4、地域交流他の状況

(毎月1回)	社団法人MOAによる、生け花+花瓶の提供、施設内に展示
4/14(特養)	若宮園内覧会に参加
4/27(小多機)	ぶどうの家まびの避難塔見学
5/11(地域特養)	けやきより施設見学あり。
5/14	玉野市の方より船舶模型の展示受け入れ。
6/17	藤田地区児童館会議、藤田荘多目的室使用
10/31	大曲ファミリーパークでの柿取りに参加
2/13	民生委員来荘(運営推進委員交替のため)
11/20	大曲地区地域防災訓練への参加

5、求人活動等

玉野ハローワーク面接会	4回参加	夏の学校訪問	7/1～16まで、県南部の高等学校訪問
介護就職デー(玉野)	1回参加	生徒の施設見学	※ 7/12倉敷翔南高校生徒1名

6、職員の配置現況（短期入所含む）

※(年度末時点での集計)

介護職員	常勤16名、非常勤9名 常勤換算20.3人(※職員1名に対して利用者1.67人の配置)※昨年度常勤換算20.5人)	25名
看護職員	常勤2名	2名
施設長・生活相談員・介護支援専門員・機能訓練指導員・管理栄養士・事務員・理学療法士・医師	各職種常勤6名(医師1名・理学療法士2名は非常勤)	9名
計		36名

※ 年度内採用・退職・異動の状況

		介護職員	ケアマネ	小計
採用	正職員	4		4
	その他(派遣1ヶ月)	1		1
退職	正職員	1		1
	準職員	1		1
異動	正職員	1(10月)		富山荘へ
		1(9月)	1(12月)	小多機へ
			1(12月)	小多機から

※ 10月より夜間宿直員を廃止。夜勤介護職員を防火管理者に任命、別に夜間巡回職員(委託契約)を配置

7、委員会等の開催状況（年 間）

運営推進委員会(5・7・9・11・3・1月)	6回開催	苦情処理委員会	第三者委員会1回開催(書面)
栄養サポート委員会	10回開催	行事委員会	6回開催
ユニット内栄養サポート委員会	10回開催	入所判定委員会	第三者委員会1回(書面)、調整会議8回
事故防止委員会	11回開催	身体拘束廃止委員会	10回(うち施設内研修6回)
虐待防止委員会	3回開催	感染・褥瘡予防委員会	12回(うち施設内研修5回)

8、外部研修の実施状況（施設外での研修）

職 種	研修内容（研修名記載）	受講人数
医務職	「感染防止研修」	延べ1人
事務職・ケアマネ・相談員等	「認定調査員新規研修会」、「介護支援専門員更新研修」、「災害に備えてケアマネに出ることを考えよう」、「新卒求人説明会」、「社会保険研修」、「共済・育成制度研修」、「社会福祉施設におけるSNSの活用」	延べ11人

※上記研修のうち6回はWeb研修です。

9、施設内研修の実施状況（外部講師による施設内での研修）

6/13・16・20	人権研修	「生かそう職場のダイバーシティ」	DVD視聴、延べ33名参加
9/21	キャリアアップ研修	「介護と接遇マナー」	介護職員等6名参加、講師 旭川荘厚生専門学院
10/11・16・17・23	虐待防止研修	「高齢者福祉における職業倫理・高齢者虐待編」	DVD視聴、延べ21名参加
11/18	安全運転研修	「安全運転管理者研修」	運転業務に関わる4名参加(Zoom)
10/19	キャリアアップ研修	「セーフティマネージメントを理解する」	介護職員等7名参加、講師 介護福祉士会
11/2	〃	「虐待はなぜ施設で起こるのか」	介護職員等7名参加、講師 社会福祉士会
2/8	〃	「拘縮予防の介護技術」	介護職員等7名・他施設1名参加、講師 介護労働安定センター
3/8	〃	「家族を理解する」	介護職員等藤田荘8名・他施設6名参加、講師 社会福祉士会

10.その他の事項

※令和4年12月1日より27日の間、新型コロナウイルスによる施設内のクラスター発生

1、定 員 12名

2、利用者の状況

(1)利用者数及び延べ利用者数

月別	介護予防通所介護事業		介護保険通所介護		一日平均利用者数 (人)
	実利用者数	延利用日数(人)	実利用者数	延利用日数(人)	
4	1	13	20	257	10.3
5	1	13	20	240	9.7
6	1	13	19	248	10.0
7	1	13	18	252	10.1
8	0	0	19	227	8.4
9	1	10	20	179	8.5
10	2	20	18	241	10.0
11	2	20	17	237	9.8
12	2	21	18	229	10.0
1	1	11	16	149	8.5
2	0	0	18	243	9.7
3	0	0	19	289	10.2
小計	12	134	222	2791	9.59

(※昨年と比較して75人減)

(※昨年と比較して155人減)

(※昨年10.1)

(2)利用者の介護度

平均 2.42

(3)利用者の年齢

最高 92 歳 最低 73 歳 平均 84.5 歳

(4)利用者の男女別数

(男) 5 名 (女) 14 名 計 19名 ※(年度末時点での数値)

3、各種主要行事等の実施状況

随 時	おやつ作り	牛乳かん作り
毎月	誕生日会	手作りケーキとお手製プレゼント
4月	お花見他	丙川遊歩道、藤田神社参拝
5月	サツマイモ苗植え	
7月	七夕会	七夕飾り作り、ハンドベル
8月	夏祭り	職員によるハンドベル、福引き、ウクレレ演奏と歌のショー、浴衣美人コンテスト
10月	運動会	玉入れ、スプーン競争
	新嘗祭	新穀に感謝して藤田神社に参拝
11月	サツマイモ堀り	デイの畑で収穫
	秋祭り	お神輿行列
12月	お飾り作り	大曲老人クラブボランティア協力
	クリスマス会	ゲーム、手品、合奏
1月	初 詣	藤田神社
2月	節分祭	鬼退治ゲーム、恵方巻作り
3月	ひな祭り	ひな壇飾りゲーム、ペープサート

4、地域交流他の状況

6月から	毎月1回、藤田大曲地区の高齢者の買い物支援を行っている。
10月	大曲道通神社祭礼に参加
11月	大曲地区防災訓練に参加
12月	「出張職場体験事業in藤田中学校」に参加。介護の仕事を紹介。
	藤田大曲児童館「ちびっこクラブクリスマス会」出張サンタに参加
12月・2月	南区西福社区支え合い推進会議に参加
9月・1月・3月	北児島ケアネット運営委員会に参加

5、ボランティアの受け入れ

デイ畑の草取り等の管理ボランティアの方、延べ15日間、施設建物外環境整理ボランティアの方、延べ10日間、12月お飾り作りボランティア(地区の方4名)

6、職員の配置現況

※(年度末時点)

管理者	常勤、生活相談員・介護士兼務	1
介護職員	非常勤7名(常勤換算3.8名、うち介護福祉士2名)	7
機能訓練指導員	非常勤1名(あんまマッサージ師)	1
計		9名

※ 年度内採用・退職の状況

	雇用形態	介護職員	小計
採用	準職員(介護職)	1名	1
異動受け	〃	小規模多機能より 1名	1
退職	〃	1名	1

7、職員外部研修の実施状況 (施設外での研修)

職 種	研 修 内 容	受講人数
介護職員等	「BCP作成研修会」、「災害医療の現場、医療介護施設間の助け合い」、「災害への備え」	延べ1人

○ 藤田荘小規模多機能型居宅介護事業所

作成 小規模管理者

1. 定 員 登録人数25名、通い定員15名、宿泊8名(うち緊急3名)、訪問(随時)

2. 利用者の状況

(1)利用者数及び延べ利用者数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	月平均
登録者数	19	19	18	18	18	17	19	18	17	18	15	16	212	17.6
利用者介護度	1.9	1.9	2	2.1	2.1	2.2	2.1	2.2	2	1.9	2.5	2.6	25.5	2.1
通いサービス利用者	282	290	274	278	239	224	277	242	239	211	179	215	2950	246
訪問サービス利用者	188	192	175	211	237	213	261	199	217	160	148	185	2386	199
宿泊サービス利用者	136	140	131	132	103	101	104	81	54	61	28	40	1111	92
前年度比	登録者数・・・17.8→17.6、介護度・・・2.4→2.1 通い・・・285→246、訪問・・・114→199、宿泊・・・159→92													

(2)利用者の介護度 平均 2.0

(3)利用者の年齢 最高 98 歳 最低 66 歳 平均 84.0 歳

(4)利用者の男女別数 (男) 2 名 (女) 15 名 計 17名 (昨年18名) ※(年度末時点での数値)

3. 各種行事の実施状況

行 事	実施月	実施日	行事内容
お花見	4月	5日	深山公園へお花見・おやつタイム・記念撮影
5月誕生日会	5月	9日	ケーキ作り誕生日会・バースデイカード・プレゼント・歌・記念撮影
バラ鑑賞		19日	ご近所でのお庭拝見となりました。
お茶会		28日	粉抹茶、和菓子、茶器、茶せんによる、本格的なお茶会を実施
6月誕生日会	6月	2日	ケーキ作り誕生日会・バースデイカード・プレゼント・歌・記念撮影
デザートバイキング		13日	冷たいフルーチェ・コーヒーゼリー・プリンの中から好きな物を選ぶ。
七夕まつり	7月	7日	短冊に願いを書いて笹かざりづくり。七夕バラ寿司と七夕ゼリー
7月お誕生日会		29日	ケーキを作り誕生日会・バースデイカード・プレゼント・歌・記念撮影
8月お誕生日会	8月	2日	バースデイカード/プレゼントを贈呈/記念撮影
夏祭り		19日	屋台をイメージしてゲームの実施/すいか割り/抹茶アイス
敬老会	9月	19日	敬老祝い・敬老御膳・記念撮影・紙芝居
秋の散策	10月	1日	ファーマーズへ・おやつ・記念撮影
おかやまマラソン応援	11月	13日	雨天のため、テレビ応援とする
11・12月の誕生日会	12月	15日	ケーキ作り誕生日会・バースデイカード・プレゼント・歌・記念撮影
クリスマス会		22日	クリスマスケーキ・職員の手品・歌・紙芝居・プレゼント・記念撮影
正月を祝う	1月	1～2日	新年のあいさつ・おせち料理・福笑い・書初め・かるた遊び・記念撮影
1月の誕生日会		9日	フルーツケーキ作り・バースデイカード・プレゼント贈呈・歌・記念撮影
初詣		17日	甘酒を頂き、藤田神社へ参拝する。
節分	2月	3日	巻きずし作り・節分の由来のお話・鬼退治ゲーム
2月の誕生日会		22日	ケーキ作り誕生日会・バースデイカード・プレゼント・歌・記念撮影
ひな祭り	3月	3日	ひなあられ、ひな祭りの由来・歌・ゲーム、お内裏さま・お雛様になり記念撮影
3月の誕生日会		14日	ケーキ作り誕生日会・バースデイカード・プレゼント・歌・記念撮影

4. 地域交流他の状況

11月	大曲地区防災訓練に参加
-----	-------------

5. 職員の配置状況

常勤職員(管理者1名、事務職員1名、介護職員6名(うち介護福祉士3名))	計12名
非常勤職員4名(常勤換算2.58人 うち介護福祉士2名)	
採用・退職	なし
異動等	11月認知デイへ介護職員1名、12月特養へケアマネ1名、特養から事務職員1名(ケアマネ補助)受入れ

6. 職員研修実施報告(外部/施設内)

5月	褥瘡予防に関する研修(施設内)	11月	「成年後見制度について」(施設内) インフルエンザとノロウイルス対策と対応について(施設内)
6月	食中毒予防について(施設内)	1月	拘縮予防の介護技術(施設内)
8月	高齢者結核の現状と結核発生時の対応	3月	家族を理解する(施設内)
10月	虐待防止DVD視聴研修(施設内「高齢者福祉における職業倫理、高齢者虐待防止編」)		

7. その他の事項

2～3月	小規模多機能型サービス外部評価を実施(運営推進委員会を通じて書面にて)
------	-------------------------------------

（玉野山田荘関係）

《特別養護老人ホーム玉野山田荘》（平成 26 年 8 月 1 日開設）

令和 4 年度の入退居の状況は、新入居者 25 名（前年度 17 名）で、その内訳は医療機関が 11 名、老健等からの施設から入居が 6 名、在宅 8 名でした。一方、退居者 26 名（前年度 18 名）でした。年度末における平均介護度は 4.06（前年度 3.89）平均年齢は 88.6 歳（前年度 88.6 歳）と前年度と比較すると、少し重度化しています。入居率平均 95.2%、総利用者数 20,741 名＋空床ショート利用者 110 名（前年度 21,542 名）コロナ禍での 7 月・8 月・2 月での施設内クラスター対応等の影響もあり－691 名の入居者減で苦戦致しました。

職員の入退職の状況は、退職者 6 名：内訳ですが、常勤 1 名（介護職員 1 名）、時間給職員 5 名（介護職員 3 名・軽作業職員 2 名）前年度は退職者 7 名（常勤 3 名、時間給職員 4 名）でした。入職者 6 名：内訳ですが、正職員 3 名（介護職員・看護職員・施設ケアマネ）、時間給職員 3 名（介護職員・軽作業職員）を採用し、今現在、働かれている職員を大切に、職員同士が会話し易い環境（定期・随時での職員面談を密にして不安要素の排除）作りに努めています。

施設内の教育体制については、資格修得に努め、介護福祉士 2 名の合格・認知症実践者研修修了者 1 名、習得致しました。又、災害に対する対策：地域との災害協力連携を考え、白石地域自主防災会へ参加及び避難訓練（火災・地震・津波災害に備え卓上にて演習含む）を年 2 回実施（事業継続計画：BCP の対応）、感染症対策（事業継続計画：BCP の対応）の研修年 2 回、身体拘束（虐待防止含む）の研修年 2 回、事故防止（医療的ケア含む）の研修年 2 回、看取りケアの研修年 1 回の委員会活動に準じた内部の研修を実施、専門的な知識を補うために、施設内での外部講師研修（旭川荘厚生学院・川崎医療短大・介護福祉士会・グループホーム協会等）を 7 回招いた他、外部の研修も個別に取入れて行きましたが、さらなる学習や周知が必要と感じています。又、地域交流とし、玉野山田荘の開設前に地鎮祭でお世話になった、胸上八幡宮の宮司より、本年 1 月に健康祈願祭を 2 階パブリックスペースで開催する事が出来、定期的な行事として行っていく事と致しました。

尚、コロナ禍でのクラスター対応等で退所後、空床を迅速に入居移行する事ができ難かった状況ではあったのですが、生活相談員と共に社協や居宅事業所、病院等の地域連携室への営業活動を今年度は、密に行いつつ、自治会等に出向き、玉野山田荘の施設概要等の説明や施設見学への取組を行います。

《玉野山田荘短期入所事業》（平成 26 年 8 月 1 日開設）

令和 3 年 1 1 月 1 日より、特養の空床型ショートを開しています。空床型ショートなので、特養入居者で入院期間が長期になる場合等に活用を計画致しますが、令和 4 年度は、6 名（1 1 0 日間）の方が利用致しました。本年度も昨年同様、利用可能な状況時には、迅速な対応を行います。

○ 特別養護老人ホーム玉野山田荘

1. 特養入居者定員 60 名 短期入所定員 10 名

2. 入居者（利用者）の状況

(1) 入居者数及び延入居（利用）日数

	入 居 部 門		短 期 入 所 部 門	
月別	入居者数(名)	延入居日数(日)	利用者数(名)	延利用日数(日)
4	58 名	1,722	0	0
5	56 名	1,720	1	8
6	58 名	1,668	1	26
7	57 名	1,785	2	32
8	57 名	1,708	1	25
9	57 名	1,671	0	0
10	58 名	1,745	0	0
11	60 名	1,748	0	0
12	59 名	1,801	1	19
1	60 名	1,789	0	0
2	59 名	1,632	0	0
3	58 名	1,752	0	0
合計	697 名	20,741	6	110

(2) 令和 4 年度入居者及び退居者（短期入所除く）（以下、令和 5 年 3 月 31 日現在）

入居者 25 名 (在宅 8 名/医療機関 11 名/施設 6 名)	退居者 26 名(逝去 22 名/医療機関 2 名/ 在宅 1 名/老健 1 名)
---------------------------------------	--

(3) 入居者の介護度

平均介護度 4.06 (5= 20 名、4= 23 名、3= 14 名、2= 5 名)

(4) 入居者の年齢

最高齢 105 歳 (1 名) 女性	最年少 69 歳 (1 名) 男性	平均 88.6 歳
--------------------	-------------------	-----------

(5) 入居者の男女別

男性 19 名	女性 39 名	計 58 名
---------	---------	--------

3. 4 年度 行事等の実施状況 4. 地域ボランティア受入れも含む

内容	時期	場所	ユニット
お茶会 お花見会	4 月	地域交流 ユニットホール	1F 入居者 2F 入居者
お茶会 昼食づくり 食事会 夕食づくり	5 月	地域交流 ユニットホール ユニットホール ユニットホール	2F 入居者 2F 入居者 1F 入居者 2F 入居者
昼食づくり	6 月	ユニットホール	2F 入居者
そうめん流し	7 月	屋外	全入居者

お好み焼きづくり	7 月	ユニットホール	1F 入居者
食事会	10 月	ユニットホール	1F 入居者
たこやきづくり ドライブ遠足	11 月	ユニットホール 屋外	2F 入居者 1F 入居者
ラーメンづくり 夕食づくり クリスマス会	12 月	ユニットホール ユニットホール 各ユニットホール	1F 入居者 2F 入居者 全入居者
正月行事 健康祈願祭 鍋パーティー 夕食づくり	1 月	2F セミパ 2F セミパ ユニットホール ユニットホール	全入居者 職員 2F 入居者 2F 入居者
お花見ドライブ	3 月	屋外	1F 入居者

地域交流等

白石自治会 班長会	4 / 17
白石地域自主防災会 防災委員会	4 / 24
白石自治会 総会	5 / 8
春の地区内清掃	6 / 12
白石自治会 班長会	9 / 11
秋の地区内清掃	10 / 2

5. 実習生等の受け入れ状況

無し

6. 広報・啓発活動

随時	施設見学受け入れ、パンフレット配布、
----	--------------------

7. 職員の配置状況

(1) 職種及び配置状況

(令和 5 年 3 月 31 日現在)

事務 (管理者含む)	看護職員	生活相談員	管理栄養士	機能訓練員
2 名	4 名	2 名	1 名	1 名
介護支援専門員	介護職員	介護短時間職員	洗濯・掃除・シート交換	管理当直
1.5 名	23.5 名	5 名	6 名	2 名

(2) 全体数と平均年齢

職員全体数	計 48 名 (男性 11 名 女性 37 名) (介護職員＝男性 5 名 女性 23 名)	
平均年齢	全体＝ 50 歳	(介護職員平均＝45 歳)

(3) 令和 4 年度の採用者及び退職者

採用者数 6 名 (短期含む)	退職者 6 名 (正職員 1 名 時間給職員 5 名)
-----------------	-----------------------------

8. 職員研修等の参加状況 (施設内の研修)

感染対策及び褥瘡予防	(定期開催)
身体拘束及び虐待防止	(定期開催)
事故防止及び医療的ケア	(定期開催)
看取り	(定期開催)

9. 職員研修等の参加状況

(施設内外部者研修)

認知症の理解	旭川荘厚生専門学院	全職員対象
感染症についての知識と感染予防	川崎医療短期大学	全職員対象
リスクマネジメントについて	旭川荘厚生専門学院	全職員対象
看取りの為に出来る事を考える	グループホーム協会	全職員対象
介護過程の展開	岡山県介護福祉士会	全職員対象
シーティング基礎知識とケース対応	グループホーム協会	全職員対象
口腔ケア研修	プライムケア岡山	全職員対象

(施設外の研修)

薬の基礎知識	西大寺ふれあいセンター	介護職員
音楽療法と認知症ケア	南ふれあいセンター	介護職員
認知症の基本的理解とケア	オンライン	介護職員
認知症介護実践研修	ウェルポートなださき	介護職員
観察と記録	西大寺ふれあいセンター	介護職員
介護現場におけるリスクについて	オンライン	介護職員
防災対策について	地域包括支援センター	生活相談員
看取り研修	ウェルポートなださき	介護職員
ハラスメントを生まないために	くらしき健康福祉プラザ	施設長
認知症 受診から治療まで	産業振興ビル	看護・生活相談員
防災・福祉対応力向上研修	きらめきプラザ	生活相談員
高齢者虐待防止について	中央公民館	介護職員
虐待させない人づくり職場づくり	きらめきプラザ	介護職員
感染対策研修会	オンライン	看護・介護職員
給食施設管理者研修会	オンライン	管理栄養士

（宮浦荘関係）

《特別養護老人ホーム宮浦荘》（平成 31 年 4 月 1 日開設）

令和 4 年度のご利用者の平均介護度は 4.0（前年度 4.1）、平均年齢は 89.1 歳（前年度 81.6 歳）でした（ともに令和 4 年 3 月 31 日時点）。また、令和 4 年度中の入退居者は、入居者 8 名（前年度 10 名）、退居者 7 名（同 9 名）となりました。平均介護度は下がっておりますが、今年度も認知症の症状が重い方が増えている傾向となっております。上半期の入居率平均 96%、下半期は 95.3%と急な退居者が多く、長期入院者、待機者にも声をかけたが、入居希望がなく空床が続いたため稼働率としては目標値を下回りました。

施設内の教育体制として、感染症対策・褥瘡防止、事故防止、身体拘束・虐待防止の内部・外部研修を年 2 回委員会活動に準じて実施し、職員の専門的な知識を補っています。今年度は介護職員実務者研修に関しては、1 名の職員が受験し介護福祉士資格も取得することができました。令和 5 年度も 1 名の介護士が一部補助を受け受験するようにしています。その後、介護福祉士も取得できるように職場環境を整えていく予定です。

令和 5 年度には特に感染対策や接遇、事故防止、排泄面など、職員の知識や意識、技術面が不足している研修を積極的に取り入れていくように計画を組みました。

令和 4 年度は、常にコロナ禍にあるなかで活動が抑制されてしまい、地域の方々との交流や地域の子ども会との交流もできませんでした。

十分な営業ができなくなったため待機者が減り、退去者が出た際にスムーズな入居を行うことができませんでした。

令和 5 年度は、コロナも第 5 類に移行されたことや感染状況も踏まえながら、今まで実施できなかったボランティアの方の訪問や、地域の方々、子ども会との交流も再開していければと考えています。

また、稼働率についても待機者の獲得を第 1 に考え、近隣の病院のソーシャルワーカーとの情報のやりとりを密にするとともに、現在交流のない中区・東区の居宅介護支援事業所へ新たな営業も増やし利用率の向上を図ります。

人員確保の面では、紹介会社を通して職員を採用。また、派遣職員を活用し人員確保に努めてきました。令和 5 年度には、新卒職員獲得のためハローワークを通じた求人や学校訪問も含め検討していく予定です。

また、地域住民の方より、10 月に発生しました台風による風水害に備え、緊急避難所として施設を一部開放してほしいと依頼があり、現在休止中の短期入所ユニットを一部開放しました。結果として、1 組（2 名）の高齢者の方がご利用され、安心して過ごすことができ喜ばれていた様子でした。

《宮浦荘短期入所事業所》（令和 2 年 1 月 1 日開設）

令和 3 年 3 月 31 日に人員不足のために休止をしましたが、その後も人員確保が難しく、当初予定していた 10 月はおろか年度内の再開をすることもできませんでした。

現在特養でも人員が不足しており、超過勤務が多く発生している状況であるため、令和 5 年度は求人活動の強化を行うとともに、事業計画に挙げているように再開を目指します。

さらに、令和 5 年度には並行して、特養の空床時にその部屋を短期入所としてご利用していただくように考えています。そのため、変更届けを提出し急な利用希望があれば「特養空床利用」という形で対応していこうと考えています。当然、併設型短期入所事業を再開すれば通常の形に戻していく予定です。

《宮浦荘通所介護事業所》（平成 31 年 4 月 1 日開設）

令和 4 年度は上半期利用率：51.25%（介護・予防併せて）、下半期利用率：55.44%（同）でした。

利用者一人ひとりに対する手厚いサービスを基本として行うことで、ご家族様・居宅事業所から信頼を得ることができたおかげか、継続利用・新規利用紹介をいただくことができています。

コロナ禍にあっては、ご家族・居宅支援事業所・他サービス事業所と密な連携をとり、感染リスクとなる情報を早期に得るとともに、簡易抗原検査を用いるなどして本人やご家族の不安を和らげながら、ご利用いただきました。

また、12 月 9 日に職員 1 名よりコロナ感染症発症の知らせを受け、事業所内にて簡易抗原検査を実施し職員・利用者様含め数名の陽性者が判明しました。保健所よりクラスターと認定され 12 月 10 日～17 日まで営業を休止しました。令和 4 年度はコロナ感染拡大予防のため、外出行事や集団での行事も控えるようにしていました。12 月 26 日には、通所利用者様も参加し火災・水害訓練を実施し万が一の事態に備えました。

令和 5 年度は、利用中の外出ドライブやボランティアの方の訪問や子ども会との交流等、制限をかけていた行事についても感染状況を見ながら少しずつですが再開していきたいと考えています。

利用者獲得の営業活動についても、コロナ感染の状況も見ながら営業範囲を広げて新規利用者の獲得を図ります。事業計画にも挙げたように、短期入所再開までは特養は当然の事、通所介護も稼働率を上げ施設全体で収益 UP に繋げていくよう考えています。

《ささえあいサロン宮ノ浦》

令和 4 年 10 月よりコロナ禍にて休止していた、ももたろう体操を再開しました。毎週土曜日に実施しており 1 回に 10 名程度の方が参加されています。その際には、通所介護事業において、現在利用の少ない宮浦地区の方への声掛けを行い、利用に繋がようと考えています。また、月に 1 回程度法人内の居宅介護支援事業所にも協力を依頼し、「介護相談窓口」を設定し介護について気軽に相談できる仕組みを作ろうと考えています。

さらに、令和 4 年 12 月から開始した宮浦地区の高齢者を対象とした、買い物送迎支援を通して地域の高齢者の方々に少しでも外出する機会を持っていただき、困り事があれば何でも相談していただける関係を築き地域に根ざした施設を目指すようにしていきます。

○ 特別養護老人ホーム宮浦荘

1. 特養利用者定員 29名 短期入所定員 10名(休止中)

2. 利用者(入所者)の状況

(1)利用者数及び延利用者日数

月	入 所 部 門		短 期 入 所 部 門	
	利用者数(名)	延利用者日数(日)	利用者数(名)	延利用者日数(日)
4	29	820	0	0
5	28	868	0	0
6	28	825	0	0
7	28	820	0	0
8	29	881	0	0
9	29	870	0	0
10	29	899	0	0
11	29	870	0	0
12	29	899	0	0
1	29	890	0	0
2	27	702	0	0
3	27	786	0	0
計	341	10,130	0	0

*入所部門の利用者数は各月末時点での在籍者数(入院者を含む)。

(2)令和3年度入所者及び退所者(短期入所を除く) (以下、令和5年3月31日現在)

入所者 8名 退所者 7名

(3)利用者の介護度 平均 4.0

(4)利用者の年齢 最高 101歳 最低 79歳 平均 89.1歳

(5)利用者の男女別数 (男) 3名 (女) 24名 計 27名

3. 主要行事等の実施状況

4月	—
5月	柏餅作り
6月	—
7月	七夕会
8月	夏祭り
9月	敬老会
10月	—
11月	—
12月	クリスマス会 施設避難訓練参加
1月	新年会
2月	節分豆まき
3月	ひなまつり

※上記以外に誕生日会を随時開催。

4. 地域・その他との交流の状況

支えあいサロン宮ノ浦でももたろう体操に参加し町内の方と交流をする。

支え合いサロン宮ノ浦にて買い物送迎支援サービスの開始(令和4年12月より、地域の独居高齢者や虚弱な子ども会会長と話し合いを行い、コロナ禍が落ち着くまで子ども会との交流を控える)

5. 実習生等の受け入れ状況

受け入れなし

6. ボランティアの受け入れ状況

受け入れなし

7. 広報・啓発活動

- ・施設パンフレットの配布
- ・介護サービス情報公表制度による事業内容の公開

8. 職員の配置状況(令和5年3月31日現在)

常勤職員 名(介護士10、看護師2、介護支援専門員(介護士兼務)1
生活相談員・管理栄養士・機能訓練指導員各1、施設長1))
非常勤職員 6名(介護士1、宿直3、環境整備2)

9. 委員会等の開催状況

- | | | |
|-------------|----------|----------|
| (1)メディカル委員会 | } | 3ヵ月ごとに開催 |
| (2)拘束・虐待委員会 | | |
| (3)事故防止委員会 | | |
| (4)給食委員会 | 毎月開催 | |
| (5)行事委員会 | 2ヵ月ごとに開催 | |
| (5)入所判定委員会 | 年2回開催 | |

10. 職員の研修等の参加状況

○施設内研修(テーマ別研修)の実施状況

- | | | |
|---------------|---|-------|
| (1)身体拘束及び虐待予防 | } | 年2回開催 |
| (2)感染対策及び褥瘡予防 | | |
| (3)事故防止 | | |

○外部研修への参加状況

- ・スッキリわかる社会保険制度 事務職員
- ・介護労働者雇用管理責任者講習 施設長
- ・接遇研修(新人研修と兼ねて法人内にて外部講師招き実施) 介護士

- その他 消防・防災(消火、避難)訓練 2回
水害訓練 1回

令和4年度事業報告

ジョウ・キンダーガーデン

(はじめに)

今期は上半期に職員の長期の病休があり、定員の19人の子どもの受け入れまでに時間がかかってしまい、単月で黒字を出せたのは12月になりました。また、職員の退職率も高く、職員間での団結にも課題を抱える状況が続いていました。来期は管理者としての見直しと職員との報告・連絡・相談を徹底することで、職員間の関係性を高め、保育の質の向上に繋げていきます。また、保育の土台をしっかりと作ることで、今期にできていないことにも挑戦できると考えています。来期は、19人定員を常に保つことができるように努めながら、地域の保育需要に対しても受け皿になっていきたいです。職員の育成にも取り組みつつ、親睦を深め、退職率を下げるように努力していきます。

1. 基本方針

【事業の目的】

私たちは、安心して子どもを預けられる保育所づくりを通じて、職場や地域の働く人を支えます。

【保育理念】

私たちは、子どもの全面的な発達をめざし、すべての子どもが人として成長していく土台作りに取り組みます。

【保育所方針】

- ①自然とふれあいながら、子どもたちがのびのびと育つ保育所をめざします。
- ②子どもの全面的な発達をめざし、すべての子どもが人として成長していく土台作りのできる保育所をめざします。
- ③保育を通じ、保育を担う職員も、保育士として成長できる保育所をめざします。
- ④子どもを中心に、親と保育者が話し合える保育所をめざします。
- ⑤地域の子育て相談や、子育て支援に取り組みます。
- ⑥地域との交流・連携を重視し、地域に開かれた保育所をめざします。

【保育方針】

- ①自然に親しみ、生活と遊びを通して、たくましい身体と前向きに生きる意欲を育てます
- ②課題にみんなで取り組み、乗り越えていく経験を通じて社会性を育てます
- ③食育に力を入れ、楽しく食事ができる子ども、食べ物に興味をもてる子どもを育てます
- ④様々な文化に触れることを大切にし、豊かな感性と感じたことを表現できる力を育てます

2. 事業概況

(1) 利用子どもの状況

上半期	4月	5月	6月	7月	8月	9月	小計
実人数予算	17	18	19	19	19	19	111
実人数実績	15	16	16	14	14	15	90
延人数予算	306	324	342	342	342	342	1,998
延人数実績	280	273	327	233	257	251	1,621

一時保育計画	10	18	45	75	91	91	330
一時保育延数	19	0	0	12	12	9	52
延人数予算	316	342	387	417	433	433	2,328
延人数実績	299	273	327	245	269	260	1,673

19人の定員いっぱいまでの子どもの受け入れをめざし、4月に保育職員2名を採用しましたが、4月末に一人退職、5月から6月にかけて2人の職員が延3.2か月の病休に入り、7月末には現場の責任者が退職することになるなど、職員体制が不安定化しました。5月に昼休憩の交代要員として臨時職員2名、6月に土曜日要員1名を採用しましたが、保育を支えるという面では厳しい状況が続き、問い合わせはあるものの受け入れを断らざるをえない中で、子どもの受け入れは計画達成に至りませんでした。上半期の予算達成率は実人数・延べ人数ともに計画に対して81.1%でした。

一時保育も、積極的に受け入れる予算を組んでいましたが、同じ理由で受け入れを断る状況が続き、5月、6月は0人となるなど、計画に対しては大きな未達成（15.8%）となりました。

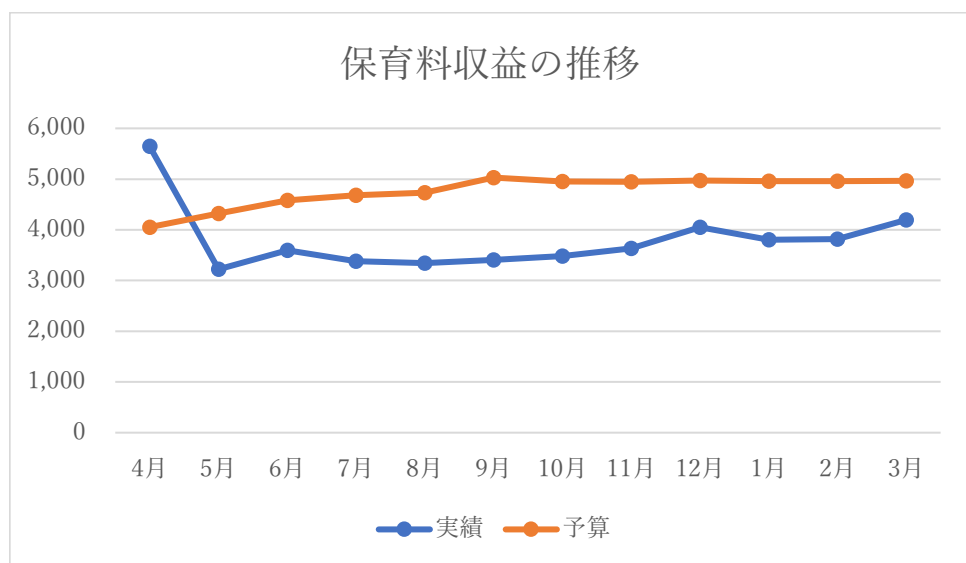
下半期	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	予算比
実人数予算	19	19	19	19	19	19	225	—
実人数実績	15	16	19	19	19	19	197	87.55%
延人数予算	342	342	342	342	342	342	4,050	—
延人数実績	288	325	398	323	326	396	3,677	90.79%
一時保育計画	91	91	94	94	94	94	888	—
一時保育延数	5	25	55	63	52	68	320	36.04%
延人数予算	433	433	436	436	436	436	4,938	—
延人数実績	293	340	453	386	378	464	3,987	80.74%

8月までに病休の職員二人が復帰し、子どもの受け入れを積極的に進め、12月には定員に対して100%の受け入れを達成することができましたが、6か月遅れた計画達成となりました。計画達成が半年遅れたため、経営的には約600万円の収益ダウンにつながりました。

（2）事業収支の状況

【収益】

事業収益は、利用子どもの予算未達の結果、予算を大きく下回ることになりました。当初予算では、50,742千円の収益を見込んでおりましたが、46,292千円の実績で、予算達成率は、



91.2%と大きな未達成となりました。3月の理事会で、補正予算を組み収益をマイナス補正していますので、最終的の予算に対しては収益合計で見ると2.8%の予算超過となりました。前期（第1期）との比較は、一期目ということで7か月の事業実施期間ということもあり、単純に比較はできませんが、前期比で234%の到達となりました。

当初予算に対して未達成だった原因は、①利用子どもの実績が予算に対し90.8%の達成率で、予算を約9%下回ったこと、②収益予算では病児保育加算を見込んでいましたが、看護師が配置できたのが6月から11月の6か月のみだったこと、③下半期から保育補助者雇い上げ強化加算を見込んでいましたが、当初予算に組んでおく必要があったことを見落としていたために算定できなかったこと、などがあげられます。来期に向けて看護師体制の確保や、保育補助者雇い上げ強化加算の準備など、しっかりやっておく必要があります。

<事業活動計算書>

(単位:千円)

勘定科目			前期実績	予算	今期実績	予算比	前期比
サービス活動増減の部	収益	【保育事業収益】	16,782	39,188	39,835	101.7%	237.4%
		【利用者等利用料収益】	2,305	5,727	5,875	102.6%	254.9%
		【借入金利息補助金収益】					
		【経常経費寄付金収益】	88	100	0		
		【その他の収益】	550	0	582		
		サービス活動収益計（１）	19,725	45,015	46,292	102.8%	234.7%
	費用	人件費	18,858	37,395	38,654	103.4%	205.0%
		事業費	2,970	4,610	3,640	79.0%	122.6%
		事務費	4,498	9,692	9,432	97.3%	209.7%
		減価償却費	4,352	7,068	7,479	105.8%	171.9%
		△国庫補助金等特別積立金取崩し額	△ 2,405	△ 4,552	△ 4,123	90.6%	171.4%
		サービス活動費用計（２）	28,273	54,213	55,082	101.6%	194.8%
サービス活動増減差額（３）＝（１）－（２）		△ 8,548	△ 9,198	△ 8,790	95.6%	102.8%	
サービス活動外増減の部	収益	受取利息配当金	0	1	0		
		その他のサービス活動外収益	19	0	328		
		サービス活動外収益計（４）	19	1	328		
	費用	支払利息	50	233	227		
		その他のサービス活動外費用	13	0	181		
		サービス活動外費用計（５）	63	233	408		
	サービス活動外増減差額（６）＝（４）－（５）		△ 44	△ 232	△ 80		
経常増減差額（７）＝（３）＋（６）		△ 8,592	△ 9,430	△ 8,870	94.1%	103.2%	
特別増減	収益	施設整備等補助金収益	78,226				
		事業区分間繰入金収益	171,195	0	2,000		
		特別収益計（８）	249,421	0	2,000		
	費用	国庫補助金等特別積立金	77,816	0			
		事業区分間繰入費用	99,816				
		特別費用計（９）	177,632	0			
	特別増減差額（１０）＝（８）－（９）		71,789	0	2,000		
当期活動増減差額（１１）＝（７）＋（１０）		63,197	△ 9,430	△ 6,870	72.9%	-10.9%	

【費用等】

費用については、人件費が予算を3.4%上回りましたが、事業費は計画比79.0%の執行状況で、予算を約20%下回りました。これは、子どもの受け入れが計画に対して大きく未達成であったことを反映しています。また、事務費も計画の97.3%の執行で、費用全体でも予算比101.6%と概ね予算通りの執行となっています。

一期目が実質半期の実績でしたので、1年を通して事業を営むという点では今期が初めてでした。1年を通して事業を営んでみないとわからないことがたくさんあり、いろんな意味でよい経験ができた1年でした。特に、運営費助成金が6月末まで入ってこないため、夏の賞与を6月に支給するという法人のスケジュールに合わせていたのでは資金繰りが厳しいことを経験しました。給与規程を改正し、夏の賞与の支給を7月に遅らせることを検討する必要があります。

（３） 職員の状況

職員体制については、残念ながらハラスメントにより退職を余儀なくされる事案が続いていましたが、今期に入り原因を作っていた職員が退職し、集団としての落ち着きを取り戻すことができました。ハラスメントが続いていた中で「ヘルシーワークプレイス宣言」を出すなどして、ハラスメントのない安心して働ける職場を作ろうと職員全員にメッセージを発信するなど、職員の団結を深める努力を続けてきた成果が出始めていますので、ここを出発点に職員の団結を深める努力を継続していく必要があります。

今年度は、保育職員を7名採用し退職3名、純増4人で10人の保育職員体制となりました。この状況が続けば、現在の定員で一時保育をカバーして何とかやりくりできる職員数となっています。病児保育を担当する看護師を5月に採用しましたが、11月末に退職し再び病児保育を休止せざるを得なくなっています。企業主導型保育所という性格上、体調不良時対応型の病児保育は重要な役割であり早急に体制を補充し、病児保育の再開をめざさなければなりません。

今期は、園長を保育職に交代しました。一つには連携推進員の退職があつて、後補充をどうするかが課題になっていたこと、二つには、園長が65歳の定年に達するので役職を後任に譲る時期が来ていること等検討した結果、園長が役職の肩書をとって連携推進員になり、あわせて給与もそのポジションにふさわしく引き下げることが経営的に負担の小さい選択肢となるという結論に至り、園長交代を行うとともに給与も年収ベースで園長時代の62%に引き下げることとしました。

また、きめ細かなアレルギー対応が求められる利用子どもの対応などが業務委託では厳しい状況にあることを含め食育の充実をめざして給食室を直営に切り替える方針を確認し、来期に向けて体制の確保に努め、給食室の体制を確保できる見通しが立ちました。

	4月1日	採用	退職	3月31日
園長	1人			1人
保育職	6人	7	3	10人
連携推進員	1人	1	1	1人
看護師	0人	1	1	0人
栄養士	(1)	(1)	(1)	(1人)
調理師	(2)			(2人)
合計	8人	9人	5人	12人

※（ ）内は、業務委託先から派遣されている職員数です。

3. ジョウ・キンダーガーデンの重点方針と取り組み

（１）健全経営の実現

①黒字経営化

利用子どもの状況のところで報告した通り、定員の19人の子どもの確保が6か月遅れとなり、第3四半期までは赤字が続き、第4四半期となってようやく黒字化を実現しました。

②長期計画づくり

黒字経営を含め安定した経営をめざす意味でも、長期計画（5か年計画）を策定し、毎年度5か年計画の何年目という位置づけをもたせ、長期的な視野に立ち、設備更新への対応を含む長期資金計画を策定しようという方針を持ちましたが、現実的な対応に追われ着手ができませんでした。

③経営の到達をすべての職員が共有する

会計事務所任せにせず、自分たちの事業が経営的にうまくいっているのかどうかをすべての職員が理解できるようにしようと方針には掲げたものの、決算書を読めるようになるにはまだまだ時間がかかる状況です。引き続き、全職員が決算書を読めるようになるまで、取り組みを継続する必要があります。

④事業の要である職員集団作り

「みんなで話し、みんなで決めて、みんなで実践し、みんなで計画達成を喜び合う」職員集団作りをめざしましたが、道半ばという状況です。引き続き努力していく必要があります。

⑤安定した職員体制

辞めない職場づくりを目指しましたが、5名の退職を出しました。退職者に共通しているのは「コミュニケーション」の問題でした。職員間のコミュニケーションの在り方を意識して、来期も安定した職員体制づくりに取り組む必要があります。

（2）利用者の処遇改善

①資金不足で整備の遅れた保育用器具備品等の整備

開設初年度は、厳しい資金状況で保育用品の整備が遅れておりました。今年度も2期目ということで依然として赤字でスタートしていますので、どこからか資金が調達できない限り自己資金で対応するには無理がありましたが、年度計画を作る段階で、保育現場の設備投資要求についてA（すぐにでも必要なもの）B（状況に応じて購入するもの）C（すぐに必要ではないがあつたほうが良いもの）ランクわけし、可能な限り整備してくこととしました。

②スタンダードプリコーション

単に新型コロナウイルス対策ということだけでなく、園での標準的な感染予防策の策定と日常的な点検を行うこととしていました。こまめに情報収集や、保護者との情報共有を心がけ、単発的な新型コロナウイルス感染症はあつたものの、クラスターになることはありませんでした。

③体調不要時対応型病児保育

看護師を確保し病児保育の再開を目指し、5月に看護師を確保したものの、なかなか保育士と団結できず、11月で退職することになりました。引き続き看護師の確保を重点課題に取り組みを進める必要があります。

④保護者の保育参加

保育参観等、保護者参加行事を計画し、保護者と一緒に具体化。この取り組みを通して保護者会を組織し、園と保護者が連携して保育実践に取り組むことを方針としてきましたが、コロナ禍という状況の中で親子遠足を実施するにとどまりました。数少ない保護者を含めた交流の場となり、保護者からも楽しかったという声が聞かれました。新型コロナウイルスの扱いが変わる来年度は、保護者の参加する行事を充実させていきたいと考えています。

⑤地域の保育需要に対応する一時保育

地域の保育需要の受け皿を目指しましたが、職員体制が不安定で、第一四半期は不十分な取り組みとなりました。下半期に入り、職員体制が安定化し問い合わせに積極的に対応した結果、特に第四四半期には月平均約 60 人の一時保育を利用する子どもを受け入れることができました。

(3) 職員の処遇改善

① 1 年単位の変形労働時間制の導入

今期から 1 年単位の変形労働時間制を採用しました。これにより、月の休日数が自由（当然法律の制限はありますが）に設定できるようになり、勤務編成に余裕が生まれ、残業時間の削減につなげることができました。また、法人内の他の事業所よりも年間総労働時間が長いという問題がありましたが、週休の他に職員が自由に取得できる公休を、半期に 2 日ずつ付与することとし、年間総労働時間を 2040 時間から 2008 時間に短縮しました。

② 保育士処遇改善加算を活用した処遇改善

新設された処遇改善加算を財源として、一人当たり加算額の三分の二に相当する額を調整手当として支給する給与規程を改定しました。将来的に調整手当を基本給に組み込みことを方針としますが、政策的な加算なので将来的にどうなっていくのか見据えたうえで、具体化したいと考えています。

③ キャリアアップ研修等の職員研修の具体化

職員研修の位置づけを明確にするために、研修を A：公務公費研修、B：公務私費研修、C：私用公費研修、D：私用私費研修の 4 分類し、各人別にどの研修を受けてもらうか計画を立て、計画に基づき研修を受講しました。

園 長	保育安全研修（児童育成協会 A）、子育て支援員研修（児童育成協会 D）
副園長	施設長研修（児童育成協会 A）、障がい児保育研修（岡山市 A） 中堅主任保育士研修（厚生労働省 A）、キャリアアップ研修（D）
副主任	初任研修主任保育士（厚生労働省 A）、キャリアアップ研修（マネジメント A） 障がい児保育研修（岡山市 A）
保育士 1	キャリアアップ研修（幼児教育 A）
保育士 2	岡山県認可外保育施設保育従事者研修（A）、キャリアアップ研修（D）
保育士 3	キャリアアップ研修（D）
保育職	子育て支援員研修（A）

④ 職員互助会を通じ職員相互の親睦を深める

コロナ禍の中で十分な活動ができませんでした。

(4) 地域貢献

① 地域の子育て支援の取り組み

地元町内会と連携して、地域の子育て支援・子育て相談に取り組む方針を掲げましたが、具体化できないまま今期を終えることになりました。

② 園解放の取り組み

園庭を地域の子どもの遊び場として開放し、ジョウ・キンダーガーデンを地域の資産として活用してもらいたいと考えてきましたが、コロナ禍の中で具体化できませんでした。来期以降の課題とします。

③富山荘との交流

コロナ禍の中で思うように交流することができませんでしたが、ハロウィンでは子どもたちがお菓子をたくさんもらいましたし、豆まきには富山荘の職員さんが鬼に扮して園にやってきて、子どもたちを怖がらせてくれました。来期はもう少し違った交流が広がることを期待します。

④地域防災

地域防災の視点から、地域と一緒にあった避難訓練の実施等を検討してきましたが、合同の訓練は具体化できませんでした。

⑤ 子どもにかかわる地域組織との交流

子ども食堂の具体化を念頭に入れて、地域の子どもの支援する組織との交流を計画しましたが、具体化できないまま今期を終わることになりました。来期以降の課題とします。